

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成26年度取組結果】

団体名	公益財団法人 アジア成長研究所
-----	-----------------

所管課	総務企画局 国際政策課
-----	-------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、国際水準の知的基盤の強化と地域への知的貢献を目的とする活動を行う。</p>
--

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>本市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、今後、アジア諸国の先進事例研究などの活動を推進し、研究成果を積極的に公表し、広報活動を強化する。 また、客観的な成果指標を策定し、26年度から3年間、その成果を評価し、その結果によっては、大学等との統合又は廃止を検討する。</p>
--

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	<p>1. 学術：RePEc (Research Papers in Economics) 格付けの日本国内研究機関上位10%以内を維持する。</p> <p>2. 地域貢献：市や実業界から政策や戦略決定上、有益なシンクタンクとして認知される。</p>
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H25	H26		H27	H28	H29	H30
	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
著名な学術雑誌への論文掲載数	4本	4本	4本	4本	5本	前年度実績の維持。	
第三者による研究内容の評価	—	高評価	RePEc格付けの国内171機関中11位	高評価	高評価		
市政・企業活動に貢献する調査研究件数	2件	3件	3件	3件	3件		
成長戦略F参加者の満足度「良かった」の割合	—	70%	92%	75%	80%		

※RePEc=Research Papers in Economics (米国)：世界81カ国の研究者が登録する経済研究論文データベースサイト(研究者：42,367人、所属研究機関：6,724所【2014.11時点】)。論文引用数を含む31項目の異なる基準により、登録者の研究内容を客観的に評価し、毎月ランキング(地域別、国別等)を発表。

ミッションの遂行状況の評価（平成26年度）

<p>団体における評価</p> <p>国際的な学術誌への論文掲載、経済分野での国際評価で上位ランキング獲得などの研究成果を挙げると共に、当研究所の果たすべき役割を意識し、地域や市政に貢献する研究活動にも注力し、実績を積んだ。また、講演会等における満足度でも高い評価を得ており、26年当初の目標を概ね達成した。</p>	<p>市の評価</p> <p>外部資金を獲得しつつ高いレベルの研究活動を進め、国際的評価のランキングでも国内機関10%以内の11位に位置づけられ、成果目標は達成している。 また、成長戦略フォーラム参加者の満足度も高く、研究成果の地域への還元にも努めている。取組みの1年目として、目標を上回る実績を上げており評価できる。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容</p> <p>広報活動の拡充、研究成果等の市民、企業への還元が、今後の課題である。成長戦略フォーラムの参加促進を図るため、開催場所・時間・時間帯等の変更や、より地元へ貢献できる研究、様々な媒体を活用し積極的な広報を行う。 また、当研究所主催の研究会・報告会も外部参加者への周知を行い、成果のPRに努めていく。</p>	<p>団体への改善指導内容</p> <p>引き続き成長戦略フォーラム等を通して、アジア成長研究所の活動について積極的にPRするとともに、地域の政策課題や企業活動等に貢献する研究を通して、地域に貢献できる研究機関としての存在をさらにPRする取組みの検討を指導していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に具体的な成果が求められ、成果が見られなければ統廃合を検討する団体
	平成26年度から客観的指標に基づき成果の評価を開始しているが、「ミッションの遂行状況の評価」に記載しているとおり、目標を上回る実績をあげている。